

看護師20年・3人の子育てお母さん

# 藤田りょうこ

日本共産党都議予定候補 事務所ニュース

No.19 2017年1月3日



謹賀新年

いのちの守り手として全力を尽くします

都議予定候補

## 藤田りょうこ

### 看護師として様々な人生と向き合ってきた

昨年は人の「死」について深く考えた1年でした。私は看護師として、多くの方の「いのちの終わり」に立ち会ってきました。病床では高齢でも若くても、「病とたたかってこられ、人生を頑張ってきた



2017年元旦、池上本門寺前に勢ぞろい。左から3人目、藤田候補

き抜き、本当にご苦労様でした」という思いで寄り添い、残されるご遺族の方と悲しみを共有し、一緒に前に進めるよう看護をしてまいりました。

しかし、昨年7月に思いがけない「死」の現実を知り、ご遺族の晴らしきれない無念さを感じるたびに、胸が締め付けられるようになりました。

### 保育事故に候補者として怒りと決意

それが大田区で起きた、6か月の赤ちゃんの保育事故でした。ご遺族の方とは東京都への要請行動などを一緒に取り組みましたが、私自身も本当に辛く、「赤ちゃんを守ってあげられなくてごめんなさ

い」という気持ちばかりが湧きあがります。もうこれ以上、行政の対応や社会保障制度の問題で、いのちを犠牲にしてはなりません。

### 共産党の奮闘で

### 都政をさらに前へ

小池都知事の下で日本共産党都議団の大奮闘があり、都政が大きく動き始めています。この流れをさらに進め、私は都議会議員として、保育施設整備・保育士の処遇改善にまっさきに取り組みたい。

13兆円の都財政を大型開発から、都民の暮らし優先に大きく切り替えるために、全力を尽くす決意です。

私、藤田りょうこを何としても都政へ送り出してください！

どうぞよろしくお願い致します。



いよいよ都議選の年です。大田区で2名の当選で日本共産党を躍進させ、新しい政治を前にすすみましょう。そのためにも自民、公明、維新の悪政三兄弟などには負けられません。かち佳代子さんの後継者であり、20年看護師を務め3人のお子さんの母親でもあり、アスリートの藤田りょうこさん勝利のため力を合わせ頑張りましょう。

大竹辰治・日本共産党大田区議団長



2017年1月号外  
大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤方

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

連絡先

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-34-7  
Tel 03-3736-1494 Fax 03-3735-4522  
URL <http://r-fujita.jcp-ota.jp/>  
Mail [r-fujita@jcp-ota.jp](mailto:r-fujita@jcp-ota.jp)





# 藤田りょうこさんを何としても都政へ

幅広い方々と繋がり、都政を動かしていきたい人  
大田病院に同期入職 **續池 幸恵** (横浜市在住)

選挙に立候補すると聞いた時、都議会で質問に立つ姿を想像しながら、いよいよ藤田さんの出番だ！という期待が大きくなり膨らみました。

1996年大田病院に同期入職。私が退職後も、親しくさせてもらっています。

◆ ◆ ◆  
20年間の藤田さんの姿を振り返ってみました。  
原水爆禁止世界大会に参加し、仲間と共に平和や社会問題を学び行動する姿。  
反核マラソンで核兵器廃絶を訴える、アスリートの姿。  
労組の役員として、安全・安心の医療・介護、社会保障を守る運動の先頭に立つ姿。  
国民が主人公の政治実現のため、数々の選挙を頑張る姿。  
保育問題改善のため、子育てママ達と懸命に行動する姿。  
藤田さんは人望が厚く、問



左が續池さん（健康まつり会場にて）

題分析・情報発信が早い。医療・介護現場に精通しており、地域や子育て世代の困難もよく把握している。

行動力はピカイチ！多くの都民が望む代表者は、利権がらみの政治家ではなく、困難を抱える人に寄り添える藤田さんのような方ではないでしょうか。アスリートスタイルの宣伝活動、新鮮で大好きです！  
共産党の枠を越え、幅広い方々と繋がり、都政を動かしていきたいと思っています。私も、子連れで応援に行きます！

## 藤田りょうこ成長記 ①9

### 全力疾走20代編 藤田りょうこ

今号より筆者は母・沢井正代さんから藤田りょうこ本人に代わります



都立医療技術短期大学看護学科に入学。推薦入学だったこともあり、一般科目の授業は難しかったですが、同じ目標に取り組む仲間の中で、毎日が刺激的

でした。そして専門科目はどの学生も同じスタートラインに立ち、一から新しい知識を覚えていくことになるため、授業が面白くてたまりませんでした。

加えて放課後はバレーボールやクリーニング屋さんでのアルバイト。同じ看護師を目指す友達もできて、充実した毎日を過ごしていました。

球技大会で、クラスの仲間と、中央ゼッケン6が私

### 成長記の執筆を娘にリレー

中・高の6年間、私は娘の生活に充分寄り添うことができませんでした。しかし娘には、「側にいなくてよかったよ。知ってたら心配させることが沢山あったと思う」と言われました。「親はなくても子は育つ」子どもは親の知らないところで成長するんですね。娘が巣立っていくのを感じました。あとは娘にバトンタッチ。

母 沢井 正代



元旦、本門寺前で反核国際署名を呼びかける藤田候補（左）と青山候補